八郎潟小学校グランドデザイン〔学校経営の全体構想〕

〈本県学校教育が目指すもの〉

豊かな人間性を育む学校教育

Ⅰ 思いやりの心を育てる
Ⅱ 心と体を鍛える
Ⅲ 基礎学力の向上を図る
Ⅳ 教師の力量を高める

〈本校の使命〉

社会の中でたくましく生き、地域の未来を支える人材の育成

〈八郎潟町学校教育の目標〉

1 確かな学力を育む
2 豊かな人間性を培う
3 心と身体を鍛える
4 国際理解教育を通して郷土愛を育む
5 教職員が働きやすい労働環境を整備する

〈中央地区学校教育の重点〉

1 学校教育目標を具現する教育課程の編成と実施
2 思いやりの心やたくましい心と体の育成
3 資質・能力を育む各教科等の指導
4 教職員一人一人の力量と学校の組織力の向上を図る研修

〈学校教育目標〉

目標をもち挑戦する子どもの育成
～あいさつと笑顔のあふれる八小～

日々の生活で明確な目標をもち、計画的・継続的な努力を積み上げながら、勇気をもって物事に挑戦する子どもを育てる。

〈目指す学校の姿〉

○あいさつと歌声が響く学校
○子どもの夢を育む学校
○地域とともに歩む開かれた学校

〈目指す子どもの姿〉

○自ら進んで学ぶ子ども（知育）
○思いやりのある子ども（徳育）
○心身ともに健康な子ども（体育）
○地域を大切にする子ども（郷土愛）

〈居場所づくりのための３つの約束〉

1 人の話は最後まで聞く
2 人の失敗を笑わない
3 人の嫌がることをしない・言わない

〈研究主題〉

他者との関わりを通して、学びを深める子どもの育成
～学びの振り返りから次の学びへ～

〈研究の重点〉

1 「伝える・聞く・考える・書く」をつなぐ言語活動の充実
2 学びを深めるための振り

〈経営の方針〉

「３つのWorkで子どもを育てる」

○チームワークによる効果的な指導
○軽快なフットワークによる指導
○ネットワークの形成と活用
○併設校という特色を生かした教育連携の推進

〈目指す教師の姿〉

○愛情をもって接する教師
○指導力向上を目指す教師
○支え合い、協働する教師
○地域や保護者に学ぶ教師

〈経営の重点と主な取組〉

1 自ら進んで学ぶ子どもを育てる（知育）	2 思いやりのある子どもを育てる（徳育）	3 心身ともに健康な子どもを育てる（体育）	4 地域を大切にする子どもを育てる（郷土愛）
□自分の言葉で表現する場の意図的な設定（小中共通実践事項） □個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 □ＴＴ指導や専科教員の指導等による基礎学力の向上 □学びの効果を高めるためのICTの活用 □読書活動の活性化に関する活動の充実 □中学校や関係諸機関と連携した授業研究会や職員研修会の計画的実施	□相手を思いやる心情を育む園小交流及び縦割り班による異学年交流の充実 □受容と共感に支えられた温かい学級づくり □道徳教育の充実 ・道徳科の校内授業研究会の実施 ・道徳コーナーの有効活用 □思いやりの心や自己肯定感を高める体験活動の充実 □インクルーシブ教育と校内支援体制の充実 ・障害理解教育の実施	□基本的生活習慣の確立に向けた支援の継続 □体育的活動の充実 ・運動の楽しさや大切さを実感できる授業づくり ・体育的行事の充実 □小中合同「あいさつ運動」の実施 □小中連携による様々な災害を想定した避難訓練の実施 □命の大切さを実感できる多様な体験的活動の実施	□CS制度を活用した「地域の学校」づくりの推進 ・地域の財産を活用した活動の充実 □ふるさと先生を始めとした地域人財の有効活用 □総合的な学習の時間の充実 ・一日市盆踊り、願人踊りの継承 □小中連携による学習活動の推進 □PDCAサイクルによる学校評価の実施 □学校報、学級通信、ＨＰ等による情報発信

〈学びの素材・人財〉

・地域の文化（伝統行事、文化的活動、史跡等）　・地域の活力（ふるさと先生、地域の関係機関、諸団体等）